

担い手

連携

多世代交流

福祉

神奈川県内の地域情報を紹介する

# 地域のわ通信

発行 ▶ 区政推進課 地域力推進担当 411-7026

新型コロナウイルス感染症の影響で  
今「食」に困っている横浜の学生を  
まちのみんなが応援する！

## まち“SHOKU” 第1弾

### ■【まち“SHOKU”】とは？

新型コロナウイルスの感染拡大が、市内の大学生にも大きな影響を与えている。アルバイトの収入激減、授業のオンライン化や外出自粛に伴う地域での孤立化など、生活全般の変容は大きい。

そんな中、区内の神奈川大学の学生たちも困難な状況にあるのではと、六角橋自治連合会、六角橋地域ケアプラザなどが中心となり学生たちの“食”の支援に立ち上がった。活動は、横浜市社会福祉協議会が運営する「ヨコ寄付※」で集まった“食”のための寄付金・寄付物資を活用している。また、学生の“食”支援だけでなく、まちの“職（仕事）”を応援し、お互いさまの関係づくりの願いも込めている。



▶配布物は米、缶詰、レトルト食品、飲み物



▶地域の方から配布食料を受け取る大学生

### ■ 地域と学生がともに活動した 5 年 間が生んだ【まち“SHOKU”】

【まち“SHOKU”】第1弾は、6月6日（土）開設時間は10時～14時30分、会場は六角橋公園プール集会所で、学生への“食”の支援がスタートした。対象者は、コロナの影響で食に困っている横浜在住・在学の一人暮らしの学生（寮生も可）。この日配布されたのは、米（2<sup>kg</sup>程度）、缶詰、カップ麺など、1人7日分程度の食品で、会場には申込をした約100名の神奈川大学の学生たちが次々に受け取りに来ていた。

この取組は「困難な現状にある学生をタイムリーに支援したい」という多いから急ピッチに進められた。六角橋地区と神奈川大学の学生は、「まち×学生プロジェクト」を通して、これまでの継続的なつながりがあり、地域と学生たちとの信頼関係があったからこそ、タイムリーな“食”支援が実現できたという。

「地域には若い人の力が必要です。これまで学生たちと一緒に小さな活動を積み重ねてきたことが、今回の【まち“SHOKU”】につながりました」と六角橋連合の森会長は目を細めた。

## ■ 学生たちの喜ぶ顔がご褒美！



▶食料を受け取り笑顔の学生

今回、参加した学生の申込数は109件。短い申込期間にこれだけのエントリーがあったことは、反響の大きさの現れだろう。

訪れた学生（3年生男子）は、「地方出身でバイトもない状況でかなり困っていたのでありがたい」また、別の学生（3年生男子）「ここで人と直接話したのは久しぶりでした。第2弾もぜひ来たい！」と笑顔で話した。話を聞いた学生はみな、現状の厳しさを訴え、配布された食品を持ち帰る時の嬉しそうな笑顔が印象的だった。

ボランティアスタッフとして関わっていた地域の方も「地域のつながりの大切さをしみじみ感じた」「コロナの影響で困っている人がいることは知っていたが、身近な学生が困っていることを知る機会になった」「学生の笑顔がご褒美！」など、それぞれがこの体験を通じた気づきの声に溢れていた。

## ■ 「ごちそうさま。ありがとう」の先にある地域とのつながり

この場に来た学生と地域をつなぐために SNS を活用している。一人でも多くの学生が地域に関心を持つきっかけとして、【まち“SHOKU”】の感想や受け取った食材を活用した料理を Twitter で

発信してもらうしかけを作っている。その間を取り持つのは「まち×学生プロジェクト」の学生ボランティアとして地域とのつながりがある神大のOBたち。現役学生と年齢が近い存在が関わることで、少し緊張ぎみに【まち“SHOKU”】に来ていた学生たちの気持ちをほぐす役になっていた。

また、地域では活躍する若い力が求められているものの、学生ボランティアは進級とともに代替わりし、その確保はなかなか難しいという。Twitter の活用は、【まち“SHOKU”】をこの場だけの取組にせず、学生が地域に関心を持ち、さらには地域の活動に一人でも多くの学生が参加することを期待されている。



▶大学のOB(左)は地域の若い力として活躍

## ■ 地域でともに生活する、お互いさまでつなぐ第2弾！

【まち“SHOKU”】は、一時的な“食”の支援の枠を超えた地域への支援の輪を広げていくことも視野に入れている。「お互いさまでつなぐ」「地域でともに生活する」をコンセプトに、まちの“職”も応援していきたい思いを六角橋商店街連合会に伝え協力を求めた。第2弾（6月21日（日））では、学生たちに食料のほか商店街で使える金券も配布していく。

【まち“SHOKU”】は、今後、第2弾、3弾と続き、地域に小さな種を蒔きながら、地域、学生を巻き込みながらその足跡を残していくだろう。



### 【まち“SHOKU”】

主催：六角橋自治連合会・横浜市社会福祉協議会・六角橋地域ケアプラザ  
協力：神奈川大学・六角橋商店街連合会・NPO 法人アクションポート横浜

※ヨコ寄付  
横浜市社協が「横浜の支えあい、すぐ横の人への寄付」を目的に運営する仕組み。